

市長記者会見記録

日時：2026年10月20日（火）14時00分～14時14分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

議題：市政一般

<内容>

【市政一般】

《横浜市長選挙について》

【司会】 ただいまより、定例市長記者会見を始めます。本日の議題は市政一般となっております。

それでは、早速質疑に入ります。まずは、幹事社様からよろしくお願いいたします。

【神奈川（幹事社）】 神奈川新聞です。改めまして、横浜市長選で原澤さんが55万票を獲得して初当選を果たしました。市長、改めて所感と今後の期待などがありましたら教えてください。

【市長】 異例の選挙戦だったと思いますけれども、多くの横浜市民の皆さんの期待を受けて当選された原澤新市長に心からお祝いを申し上げたいと思いますし、これから隣接する都市の市長同士、しっかりコミュニケーションを取って、両市のみならず、指定都市市長会ですとか県内自治体との関係で様々な連携することがあると思いますので、連携よくやっていきたいと思っておりますし、今後の御活躍を期待したいと思っております。

【神奈川（幹事社）】 定例会見では、次の市長には特別市についても特に協力体制を築きたいとおっしゃられていましたけれども、既に何らかのアクションなどは取られているのでしょうか。

【市長】 いえ。まだお祝いの言葉もお伝えできてない状況ですので、これからという形になると思います。

【神奈川（幹事社）】 そもそも原澤さんとは面識等々はあるのでしょうか。

【市長】 いや、全くないです。

《八尾副市長の退職について》

【神奈川（幹事社）】 話変わってなんですけれども、昨日、八尾副市長が辞職するということが発表されました。改めて市長の受け止めについて教えてください。

【市長】 任期途中で辞職されることになったことは非常に残念でありますし、また、議会の議決をいただいている人事案件ですので、非常に責任ある職という形で、途中

で職を離れることになったことに、任命権者として大変申し訳なく思っております。引き続き市政全体に影響がないように、しっかり取り組んでまいりたいと思っております。

【神奈川（幹事社）】 リリースには、一身上の都合ということが理由として書かれていましたけれども、言える範囲で、もし理由等々を言えたら教えてほしいんですけれども。

【市長】 理由が一身上の都合でということで、それ以上は非常にプライベートに関わることで、私からは申し上げることはできないということでありますので、御理解いただければと。

【神奈川（幹事社）】 あと当面、三田村、白鳥の両副市長の２人体制ということでしたけれども、後任については、いつ頃をめどにとか、その辺は考えられていることがあれば教えてください。

【市長】 現時点で後任が決まっているということはございませんので、しばらくの間は両副市長に分担をしてもらうという形になります。

【神奈川（幹事社）】 何らかのめどみたいなものというのは、今のところは特段決めてないという形ですか。

【市長】 ええ。特段、いつどういう形でというのが、急な話でもありますので、まだ決まっておりません。

【神奈川（幹事社）】 幹事社からは以上です。

【司会】 それでは、幹事社さんがよろしければ、そのほか御質問される場合には挙手をお願いいたします。

産経新聞さん。

【産経】 副市長の辞職の関係なんですけれども、これはもう完全にプライベートな理由ということでよろしいんですか。

【市長】 はい。

【産経】 市長の任命責任とかが問われるような背景は一切ないという……。

【市長】 はい。

【産経】 分かりました。ありがとうございます。

【司会】 朝日新聞さん。

【朝日】 朝日新聞です。お疲れさまです。同じく八尾副市長の関係なんですけれども、今後また国のほうから副市長を招くというお考えはありますでしょうか。

【市長】 現時点では全く何も決まっていないう状況でございまして、当面の所

管のところは両副市長に担っていただくということだけが決まっております、後任のことについてはまだ一切白紙の状態です。いつ誰がということについても全く白紙ということでございます。

【朝日】 今後の川崎市の重要戦略について期待感があった八尾氏だったと思うんですけども、そういう意味で、もう1人、市長、また増やされるというようなお考えは現時点ではいかがでしょうか。

【市長】 ごめんなさい。もう1人……。

【朝日】 もう1人副市長を増やされるというお考えはあるのかどうか。

【市長】 ごめんなさい、それは、今の副市長の2名にプラス1名ということでしょうか。それは後任ということでしょうか。

【朝日】 後任というか、先ほど国からまた招くことは決まっていないという話でしたけれども、また、重要戦略のために体制を拡充したいというお考えがあるのかどうか。

【市長】 ありがとうございます。現在の2名の副市長に分担を振り分けたことによって、副市長の負担がかなり重くなるなということは今から予見されていますので、何らかの形で早めには思っておりますけれども、とはいえ、急なことでありますので、この先についてはまだ考えられていないということです。

【朝日】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

NHKさん。

【NHK】 お疲れさまです。NHKです。重ねて八尾副市長のことについて伺います。理由はプライベートということだったと思うんですけども、いつ辞職の申出、八尾副市長から申出があったのかどうか、あと経緯について教えていただけますでしょうか。

【市長】 13日の夕方というか、夜というかに八尾副市長からお話があったということでありまして、そこからスタートという形になっていますので、急なことではありましたが、以降、いろいろ手続をさせていただいてということになります。

【NHK】 市長としては、突然辞職の申出があったという認識なんですか。

【市長】 お互いそういう認識であります。

【NHK】 以前から御相談があったとかそういう話はないですか。

【市長】 ということではありません。

【NHK】 ありがとうございます。

《市立高校改革について》

【司会】 神奈川新聞さん。

【神奈川（幹事社）】 神奈川新聞です。高校再編についてお伺いしたいんですが、高校改革の見直しを求める要望書の提出ですとか、あと署名活動というのが行われています。時期が尚早にも感じられるんですけども、そのことについてはどのように受け止めていらっしゃるのでしょうか。

【市長】 高校改革全般については、必要性というのは皆さん御理解いただけるのではないかなとは思いますが、一方で、自分の今通っている学校だとか、あるいは以前通っていたという母校の話になりますと、様々な思いをお持ちになるというのは当然のことだと思います。ゆえに、しっかりと説明をしていくということもありますが、心情に寄り添った説明をしていかなければならないとは思っております。

【神奈川（幹事社）】 定時制についてもお伺いしたいんですけども、市内に分散されている定時制を幸高校に集約されるかと思うんですが、現在、不登校児童が川崎市内で増加傾向にある中で、定時制高校は一定の受皿になっているとも考えられるかと思うんですが、その数を減らすことによって、近いからこそ通いやすい、通えるというお子さんもいるかと思うんですが、そういうことについてはどのようにお考えでしょうか。

【市長】 様々な御意見があると思います。近いから通える、遠いから通える、いろんなケースがあると思います。不登校の理由は様々で、定時制高校に通っていらっしゃる方もいれば、そうではない選択をされる方もいて、お一人お一人考え方があってあると思います。そのうちの御意見をしっかりと承りたいと思います。

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

t v k さん。

《横浜市長選挙について》

【t v k（幹事社）】 すみません、後方から。テレビ神奈川です。よろしくお願いします。横浜市長選について伺うんですが、今回の選挙戦の結果で山中前市長が退くということになりました。5年間、隣接する都市として一緒に連携してきたと思いますが、この5年の山中前市長の市政運営についてはどのように御覧になるか教えてください。

【市長】 やはり山中さんになってから、給食の話ですとか様々、子供関連のところで取組をしっかりと進められたことは、隣の都市から見ても非常に頑張られたので

はないかとは思っています。

一方で、トップによるパワハラというのは、これは許されるべきことではありません。そういった意味での、私、横浜市民ではないのでおこがましいですけども、横浜市民の御判断が今回あったんだと私なりに受け止めております。

《サイバー攻撃について》

【t v k（幹事社）】 ありがとうございます。あともう1点、話は変わりますが、各地でサイバー攻撃が相次いでいます。もし川崎でも同じような、市役所の関連でサイバー攻撃を受けている事案が、例えば年度内あったら教えていただきたいのと、独自で対策していることなどがあったら、そちらも併せてお願いします。

【市長】 国からも通知が発出されて、やはりウェブシステムをしっかりと管理しなさいとか、あるいは委託先のことについても対策をしっかりと取るようになどなど、様々な通知が出ていますので、その基本を徹底するということがまず大事だとは思っています。

ただ、本当にどこの自治体も、企業の皆さんもものすごいサイバー攻撃を受けているので、自分のところだけは絶対に安全だと言い切れない状況にあるというのは非常に危機感を持っております。そんな中でできる対策、基本となるものはしっかりやっていきたいと思っております。

【t v k（幹事社）】 分かりました。ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。

読売新聞さん。

《市立高校改革について》

【読売】 読売新聞です。先ほど神奈川新聞さんの質問にもあったんですけども、高校改革につきまして、かなり大胆な内容を含むものだと思うので、改めて市長の口から、今回の改革の重要性ですとか意義というものを語っていただけますでしょうか。

【市長】 そもそも、やはり一番ベースになる子供の数も減ってきているということもそうですし、それから、高校の無償化の影響は当然あると思います。それから、求められている教育の中身とカリキュラムも含めてというのも時代の変遷に合わせてやっていかなくちゃいけないと、変えていかなくちゃいけないという幾つもの基本的なものが、時代に合わせて変えていかなくちゃいけないということなんだと思います。

その中で今回、数とすれば5校を4校にという形でありますし、内容についても、次の時代にふさわしい内容に教育委員会のほうで考えていただいたんだと思います。大きな改革の必要性というのは、大方皆さん御理解いただけるのではないかなと思っております。ただ、影響があるところはありますので、丁寧な説明をしていかなけれ

ばならないとは思っています。

【読売】 現時点では、改革の内容について、変更ですとかは特に考えていらっしゃるかと理解してよろしいでしょうか。

【市長】 そうですね、はい。

【読売】 ありがとうございます。

【司会】 そのほか御質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

・この記録は、明らかな言い直しや言い間違い、質問項目など整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当